

中学校 社会科

1. 社会科における学習評価の基本的な考え方

社会科では、分野ごとの特徴があることに留意する必要があります。歴史的分野は、学習指導要領の内容に「技能」についての記載があるのは大項目 A「歴史との対話」のみですが、その技能は歴史的分野すべてを通して使うため、各単元で「技能」の評価を行う必要があります。公民的分野は、新たに身につける技能が無いため、「技能」の記載がありませんが、それまでに身につけた社会科の「技能」が活用されているかどうか、学習改善につなげる評価を行います。「主体的に学習に取り組む態度」については、地理的分野と歴史的分野で「よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究（、解決）しようとしているか」を評価し、公民的分野では「現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしているか」を評価することが基本となります。

2. 中学校社会科の「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順

中学校社会科の「内容のまとまり」は、各分野の中項目です。例えば〔歴史的分野〕では、A 歴史との対話(1)私たちと歴史、(2)身近な地域の歴史、B 近世までの日本とアジア(1)古代までの日本、(2)中世の日本、(3)近世の日本、C 近現代の日本と世界(1)近代の日本と世界、(2)現代の日本と世界に分けられます。

この内容のまとまりを踏まえた学習評価の事例を、〔歴史的分野〕の近世の日本で説明します。

例 歴史的分野「近世の日本」

内容のまとまりごとの評価規準は、学習指導要領の内容をもとに作成する。内容のまとまりごとの評価規準を単元の評価規準とすることが基本形であるが、いくつかの単元に分けたり、複数の中項目にまたがって評価場面を設定したりすることも考えられる。

(1) 単元の目標の設定

- ・我が国の近世の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・近世の歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・近世の歴史に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。



(2) 単元の評価規準の設定

この事例では、「内容のまとまりごとの評価規準」をもとに、授業内容に即したものになるよう、単元の評価規準を作成している。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、<u>諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</u> ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、<u>諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</u> ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、<u>諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</u> ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、<u>諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>「思考・判断・表現」については、「～表現している」へと文末を変更して作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の日本について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 <p>この事例では、実際の授業に即して、「見通しをもって」や「学習を振り返りながら」、「次への学習のつながりを見いだそう」などを記載している。</p>

知識については文末を「～理解している」、技能については「～身に付けている」とすることが基本だが、歴史的分野の大項目 B と C には、技能についての記載が無いため、下線部のように書き加える必要がある。

(3) 単元の指導と評価の計画 (全 28 時間)

歴史的分野では、中項目を大きな単元として、その中にいくつか「小単元」をおき、小単元の中にいくつかの「次」をおきます。

各「次」は 1 ～ 数時間単位で構成することを想定しています。

確認して、十分でない場合は、必要な指導や助言を行う。

●は、学習改善につなげる評価 (確認する) ○は、評定に用いる評価 (評価する)

	学習活動	評価の観点			主な学習内容・内容
		知	思	態	
中項目の導入	<p>【ねらい】近世の社会の変化の様子について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとしている。中項目全体を貫く問い「あなたは、近世社会の基礎はどのように築かれ、どのように変容し、近代へとつながったと考えますか。」教科書や資料集、小学校での学習経験やこれまでの学習を基に見通してみよう。</p> <p>・教科書や資料集、これまでの学習や小学校での学習を踏まえて、中項目全体を貫く問いについて考察し、ワークシートに記入する。</p>				<p>● 小学校での学習などを基に、中項目全体を貫く問いに対する学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。</p> <p>● 努力を要する状況になりそうな生徒の様子を確認し助言を行う。(ワークシート)</p>
小単元 1 ～ 2 は省略					
小単元 3	<p>【ねらい】産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。</p> <p>小単元の学習課題「なぜ町人が文化の担い手となり、その結果どのような都市や各地方の生活文化が生まれたのだろうか。」</p> <p>第一次 課題 「自分たちの生活する地域の産業や交通の発達には、この頃、どのような特徴がみられたのだろうか」について、身近な地域の事例などを取り上げ、資料を活用して考察し、ワークシートに記入する。</p> <p>●では、「歴史的な見方・考え方」を働かせて、考察しているかを確認し助言を行う。</p> <p>第三次 各次の学習内容を踏まえて、小単元の学習課題「なぜ町人が文化の担い手となり、その結果どのような都市や各地方の生活文化が生まれたのだろうか。」について、資料を活用して考察し、ワークシートに記入する。</p> <p>○中項目全体を貫く問いとの関わりを確認する。</p>				<p>● 資料から学習上の課題につながる情報を適切に読み取っている。</p> <p>● 技能については、資料から歴史に関わる情報を読み取っているかを確認し、助言を行う。</p> <p>● 第一次の課題について、産業の発達などに着目して考察し、結果を表現している。</p> <p>【例】「おおむね満足できる」状況 (B) と判断できる主な記述内容 産業や交通が発達して人々の生活が豊かになったこと、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたこと、年中行事や祭礼などの各地方の生活文化が生まれたことなどを記述している。 これら 3 つ全てを関連付けて記述していれば「十分満足できる状況 (A)」とした。</p> <p>○ 産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化などに着目して、小単元の学習課題について考察し、結果を表現している。</p> <p>○ 「町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと」について説明している。</p> <p>○ 個別の事象の知識に留まらず、関連付けて、当時の生活文化について説明しているかを評価する。</p> <p>● 自己の学習について振り返り、調整しようとしている。</p> <p>● 小単元の最後には、学習内容、方法や過程を振り返り、調整しようとしているかを確認し、助言を行う。</p>
小単元 4 は省略					
中項目のまとめ	<p>中項目のまとめでは、各小単元での学習を振り返り、学習した知識を組み合わせたり、傾向を見いだしたり、類型化したりして、時代の特色を考察し、その結果を表現していることを評価する。</p>				<p>○ 中項目のまとめでは、導入でワークシートに書いた見通しと比較して、加わった点や気付いた点などの記述から、生徒が自己の学習を調整する姿を評価する。次の時代につながると考えられる事柄をあげて、その理由を説明しているかで、次の学習へのつながりを見いだそうとしているかを評価する。</p>